

コラム

●朝陽地区沼町の取組： 町会による町会館の建替えの取組

- ・沼町では町会館の老朽化に伴い、建替えが長年の課題となっていました。
- ・町会と町内有志が中心となって全町横断組織「沼町を考える会」「会館問題検討委員会」を立ち上げ、沼町の住民に訴えました。
- ・この結果、賛同と建替資金を得て、建替えを実現しました。
- ・町会の建替えの取組をきっかけに、地域への帰属意識が高まりました。

テーマ： 町会館の建替えを通じた集いの場の確保

暮らしのなかでの気づき

- ・町会館が老朽化し、全町あげて建替えができないか？

みんなで話し合い情報・課題・ニーズの共有

- ・より広く町民が利用できる方法はないか？
- ・資金を広く町民から集める方法はないか？

地域での福祉の実現

- ・町民が気軽に利用できる文化活動、自己啓発、スポーツなどを会館で実施（沼町文化祭・卓球大会・趣味講座等）
- ・広く町民の賛同を得て、建替え資金を確保
- ・講師の招へいは町会が中心となり実施、会館の清掃も町民で当番制により実施
- ・取組が発展し、防災委員会を立ち上げ、緊急時に約100名が集まる体制を構築
- ・町民への呼びかけは、全戸訪問により理解を得た
- ・町会独自の新聞（沼町新聞）やパンフレットによる情報発信

沼町新聞



町会案内



●光明地区の取組：市民懇談会プロジェクトの取組

光明地区では前計画で重点プログラムと位置づけられた市民懇談会プロジェクトをきっかけに、主体的に市民懇談会を継続して実施しています。自分たちで、地域(校区)の現状や課題、そして近い将来地域に訪れる変化を予測し、地域課題は何かなどを話し合い、計画を立てて取り組んでいます。

テーマ： 防災、買い物困難、子ども会のあり方等への取組

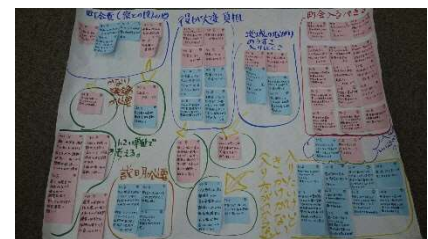
暮らしのなかでの気づき

- ・ 少子高齢化が進む岸和田ですが、近年人口が増えている
- ・ 住民同士がふれあえる機会をもっとつくりたい
- ・ 地域生活を支える町会・自治会ははじめ、各種団体への参加も増やしたい
- ・ 地域皆で光明校区の現状を知って助け合いのまちづくりにつないでいきたい

話し合いの様子

みんなで話し合い情報・課題・ニーズの共有

- ・ 実際にわがまちに暮らす住民の声を聴くため全世帯アンケートを実施。各種団体へのアンケートも実施
- ・ 実行委員会(地区全体の各種団体が集まる場)を開催し、アンケート結果の集計・分析
- ・ 分析結果をもとに課題を整理して、できることから取組を実施



地域での福祉の実現

- ・ 町会主催による、高齢者や障害がある人もない人も全町で防災訓練を実施
- ・ スーパーマーケットが1軒もない光明校区で、COOP移動販売を誘致(町会、老人クラブ、福祉委員会のリーダーで検討を実施)
- ・ 子ども会の新入会員を増やすため、子ども会の運営について話し合い、情報共有の場を設定(子ども会の役員、子ども会の役員のOB、運営委員で検討を実施)

移動販売の様子

